

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 分子設計と細孔構造制御によるハード柔軟多孔体の創出
2. 研究代表者： 長谷川 丈二（名古屋大学 未来材料・システム研究所 特任准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題では、分子ネットワークのデザインと多孔構造の精密構造制御により、本来はソフトで脆い低密度多孔質材料に、ハードで柔軟な力学特性を発現させることを目的とする。

フェーズ1では、柔軟性と剛直性を併せ持つ多孔質材料について、開発並びにその理解と一般性の探求において結果が出ており、研究の着実な進展が見られる。多孔質材料に柔軟性を付加することで期待される機能などを示すことが望ましい。

フェーズ2では、材料の開発から応用展開に主軸を移し、また力学特性発現メカニズムの解明に際して、線状高分子の分布状態の解明に取り組む計画である。フェーズ1の積み残しも含め、計画は合理的に練られており、個別の課題に対する実現性は高い。

以上